

知識は 旅をする



館内のご案内（3）AVブース
※古今東西の名作映画をご覧になれます。

千葉県立東部図書館だより

2013年12月

第48号

■トピックス

▼展示コーナー

「古典に親しむPart2室町～江戸時代の文学」
11月16日(土)～1月16日(木)

次回展示予定
「芥川賞・直木賞の作品Part3 1989～2013」
展示期間1月18日(土)～4月17日(木)

▼年末年始休館のお知らせ

12月29日(日)～1月4日(土)まで、休館します。

なお、休館中でも資料の返却ができます。
東部図書館正面入口左側の「返却ポスト」をご利用ください。

▼地域づくり支援講座のご案内

「語り継ぐ震災の記憶と記録
ーいのちを守るまちづくり」
「NPO法人光と風」の協力を得て、講演、紙芝居、語り部の話などを行います。
2月15日(土) 13:30～15:30(開場13:00)
会場:3階研修室
定員:60名 ※1/5(日)～申込受付(来館・電話)

▼利用者アンケートを実施しました

10月27日(日)～11月9日(土)の間、
来館された皆様に利用者アンケートをお願いしました。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
→<結果を掲載しました>

ホームページURL <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイトURL <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機のQRコードリーダーでアクセスできます→



れんげ野原のまんなかで

森谷 明子／著

東京創元社

2005 [9136/㊦72]



市のはずれの崖下にある秋葉図書館。まわりはススキだらけで閑散としたこの図書館で「事件」は起きた。閉館後の図書館に隠れて居残ろうとする少年たち。本の背ラベルの文字を組み合わせて残されたメッセージには…。

本を愛し本に救われる人たちが、小さな図書館にもたらすさまざまな謎に、新人司書の文子が奮闘します。

秋から春へうつろいゆく季節の風景も印象的な連作短編。事件に絡んで登場する本も一読するとより楽しめます。



図書館ぶらり散歩 (36)

ミステリーツアー へようこそ

ソープ・ヘイズルの事件簿

V・L・ホワイトチャーチ／著

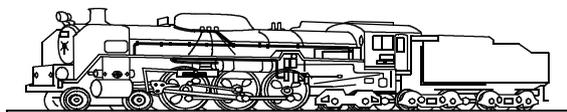
小池 滋 ・ 白須 清美／訳

論創社

2013 [9337/㊦2]



書籍収集家にして鉄道愛好家のヘイズル。イギリスの列車で次々と起こる難事件を、持ち前の鉄道の知識を駆使し解決していく短編集。その中でも極めて興味深いものは「サー・ギルバート・マレルの絵」事件。走っている貨物列車の真ん中の車両だけが、忽然と姿を消した。その車両にはサー・ギルバート・マレルの所有する大切な絵が…。いったい絵を載せた車両はどこへ消えたのか。



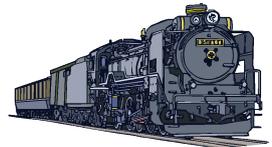
8017列車

アレックスandro・ペリッシノット／著

菅谷 誠／訳

柏櫓舎

2005 [973/㊦2]



第2次世界大戦前後のイタリア。その混乱期の列車事故を題材にしたミステリー。身に覚えのない罪で汚名をきせられ、鉄道公安官を解雇されたアデルモ。その頃の自分を知り、汚名を晴らすことができる唯一の知人が何者かに殺されてしまったことを知る。そして汚名を晴らすことができなくなったアデルモは…。

イタリア人のナチスに対する感情やイタリア南北での対立など、戦争が残した傷跡の切なさが心に残る1冊です。



密室から黒猫を取り出す方法

北山 猛邦／著 東京創元社

2009 [9136/キ17]

推理小説では人を殺した犯人は自分が疑われないように色々な細工をします。

このお話も、犯人は自殺にみせるために、密室を作り出そうとします。途中まで順調に進んでいた計画も黒猫の出現によって、完璧ではなくなってしまうのです。怪しまれないように装いますが、探偵の登場でピンチに…。名探偵 音野順の手腕はいかに?! 他に4編を収録。

他にも当館には多くのミステリーをご用意しています。ぜひ、ミステリーで世界を旅してみたいかがでしょうか。

※[]内は資料の請求記号です。

図書館の達人

<調べ方案内10> 『歴史的音源』(れきおん)

国立国会図書館の「歴史的音源」が、調査・相談カウンターのパソコン(2席)で聴けます。昔の音楽や音声を実際に聴くことができ、調べものにも便利です。是非ご利用ください。

●『歴史的音源』とは

歴史的音源とは、1900年代初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤や金属原盤等に収録された音楽や演説など約48,700点の音源のことです。落語、長唄、管弦楽、歌劇、清元、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズなどいろいろあります。当館は配信提供参加館なので、インターネット公開分と館内限定公開分のすべての音源をお聴きいただけます。

●聞き方

- ① **トップ画面**：曲名、作詞、作曲、演奏者などで検索できます。一覧やジャンルからも探せます。
- ② **一覧画面**：聴きたい音源を選んでクリックします。
- ③ **再生画面**：止めるときは、■停止ボタンを押します。音量の調整ができます。



●検索例：『サンタ・ルチア』(藤原義江の歌)を聴きたい。

トップ画面の検索窓に、「サンタルチア」と入力します。空白を1文字入れて、続けて、「藤原義江」と入力します。「サンタ・ルチア」(藤原義江)が4件ヒットします。聴きたい音源を選んでクリックします。藤原義江の歌(テノール)が聴けます。ちなみに、4件のうち2件は山田耕作のピアノです。なお、1件はインターネット公開ですので、どなたでもお聴きいただくことができます。



名作映画鑑賞会のご案内

奇数月の第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。(入場無料)

開場：午後1時15分～

上映：午後1時30分～

場所：東部図書館3階研修室

★ 1月18日(土) 『嵐が丘』

監督：ウィリアム・ワイラー

主演：ローレンス・オリヴィエ

★ 3月15日(土) 『おくりびと』

監督：滝田洋二郎

主演：本木 雅弘



往時の交流を身近で感じる

～ 一般財団法人 米本図書館 ～

短歌雑誌『^{かんらん}橄欖』は平成10(1998)年3月号から当館で所蔵していますが、今回はそのルーツともいえる施設を訪問させていただきました。

図
書
館
本
館



米本図書館は明治40(1907)年8月、香取郡久賀村(現多古町)の米本信吾氏によって設立されました。読書を通じた青年教育の振興を目的として資料の収集が始まりましたが、現在も並木栗水^{なみき きりつすい}文庫や吉植庄亮^{よしう えしやう}の著書を中心とした短歌資料の維持管理等、ほかにはない図書館として、研究者や郷土の愛好家等が訪れています。米本允信館長にお話を伺いました。

まず目に入ったのは、並木栗水あてに全国各地から届いた直筆書簡の数々。最近発見されたものがあり、内容をまとめている最中とのこと。郷土出身の儒者栗水の著書や蔵書は2千余冊で、大正5(1916)年に附属文庫として併設されました。

また、千葉県三大歌人の一人である吉植庄亮の著書および主宰する『橄欖』等、大正から現代の短歌に関する文献の収集と保

管も行っています。米本館長の父・重信氏は『橄欖』の編者を任されていたとのこと。現代まで脈々と続いている、この地域の歌詠みの交流が偲ばれました。

親交のあった日本画家石井林響^{いしゐ りんきやう}が信吾氏に送った書簡を拝見しましたが、二人の間にある、温かい心のやりとりが垣間見られます。

今回お話を伺った庄亮記念館は、もと郵便局の建物だったとのこと。正面から入ったところに当時のカウンターも残されており、周囲の長閑な風景に溶け込んでいました。

庄
亮
記
念
館



一般財団法人 米本図書館

- ◆所在地 千葉県香取郡多古町次浦1827
- ◆電話 0479-75-1053
- ◆交通 JR成田線佐原駅より多古行バス次浦下車徒歩5分
- ◆開館時間 午前9時30分～午後4時
- ◆休館日 土曜日、日曜日、月曜日、祝日
年末年始

(訪問の際は、事前に電話をしてください。)

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

当館は、11月1日で開館15周年を迎えました。この日は「古典の日」。当館の特色(歴史・文学)に相応しい記念日です。企画展示「古典に親しむPart.2室町～江戸時代の文学」で御伽草子や俳諧など当時の文化をお楽しみください。

編集・発行：千葉県立東部図書館
〒289-2521

千葉県旭市ハの349

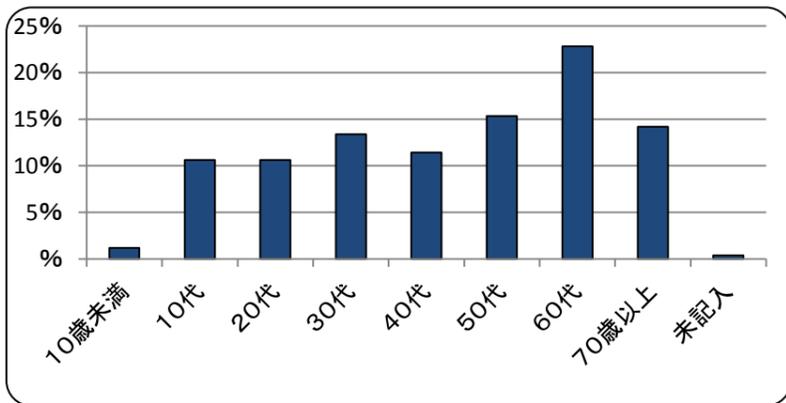
TEL0479-62-7070

URL：<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

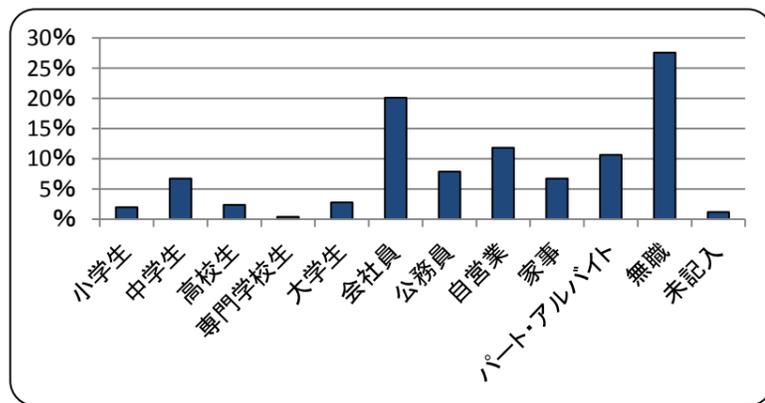
東部図書館 利用者アンケート集計結果

平成25年10月27日～11月9日に実施しましたアンケート調査の結果をご報告します。
アンケート回収枚数は254枚で回収率は約81%でした。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

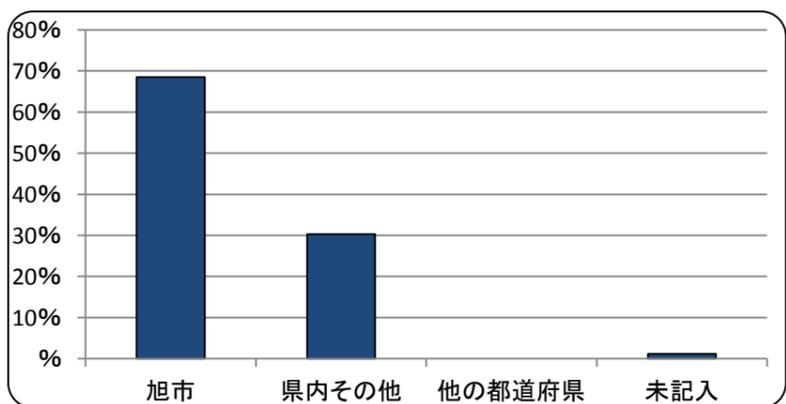
○年齢



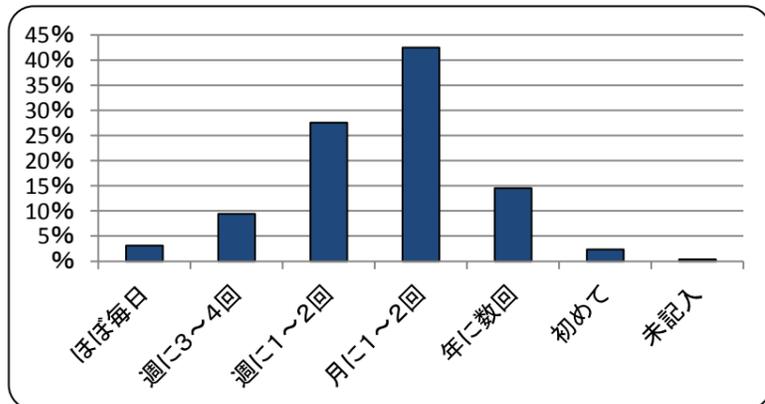
○職業



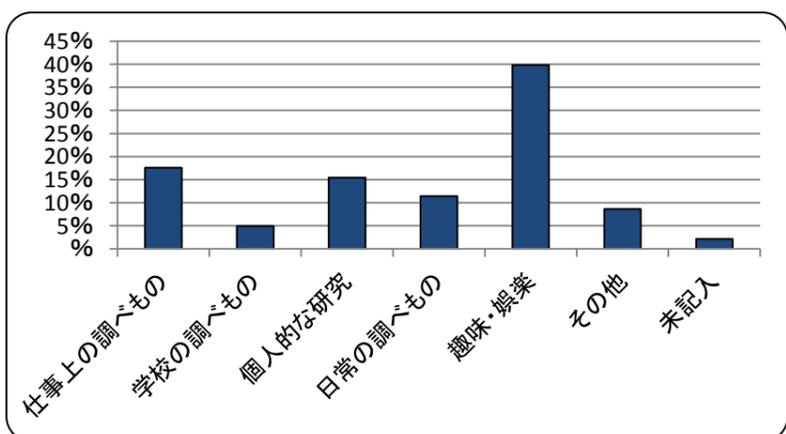
○住所



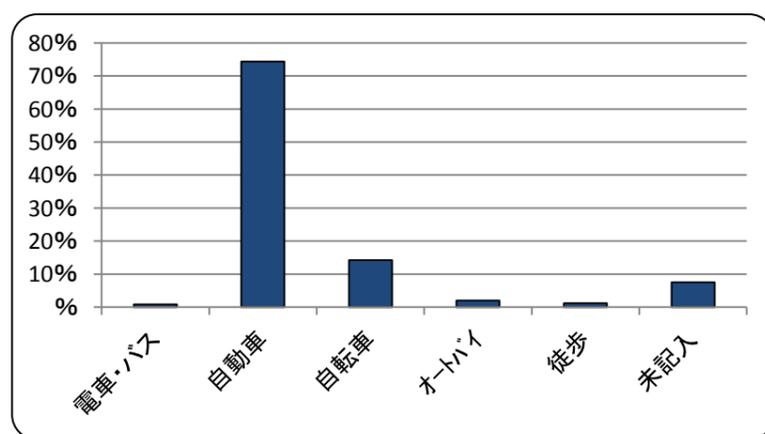
○来館頻度



○来館目的



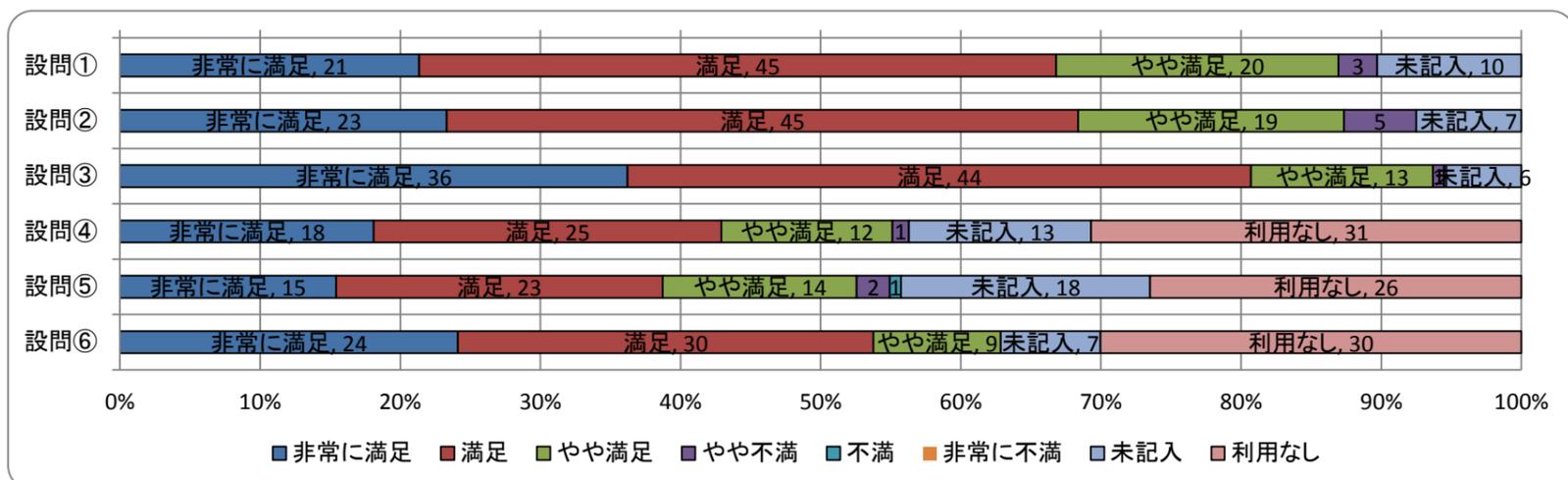
○交通手段



- ・回答者の4割弱が60歳以上で、続いて50代、30代、40代、10・20代の順になっています。
- ・職業については、その他(無職等)が27%、次いで会社員20%になっています。
- ・住所については、「旭市」が約7割を占め、自動車で来館される方が圧倒的に多く、7割強となっています。
- ・来館目的については、「仕事上の調べもの」・「学校の調べもの」・「個人的な研究」・「日常の調べもの」が合わせて49%、「趣味・娯楽」が39%となっています。

共通設問

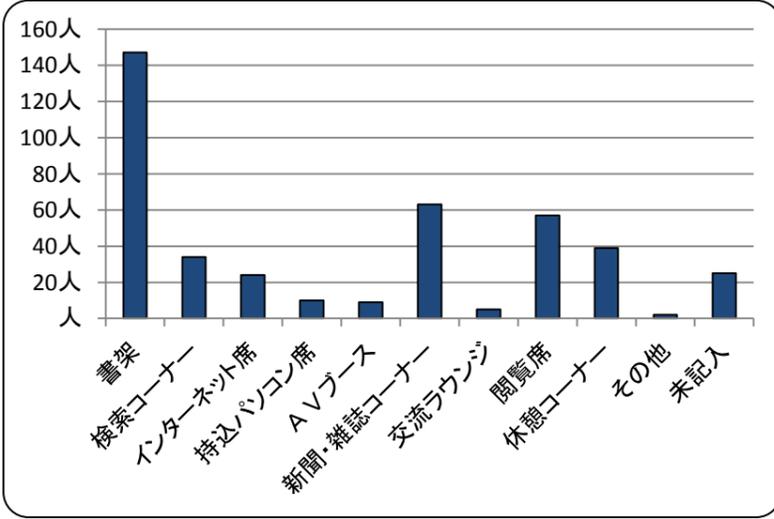
- ①お探しの本(資料)は利用できましたか。
- ②館内案内図や書架の表示、カウンターの表示などは、わかりやすいですか。
- ③職員の対応はいかがですか。
- ④他の図書館からの本の取り寄せの期間や手続きはいかがですか。
- ⑤資料検索機、インターネット等のパソコンでお探しの情報は得られましたか。
- ⑥調べものや探している本のことで、職員に相談したときの回答は的確でしたか。



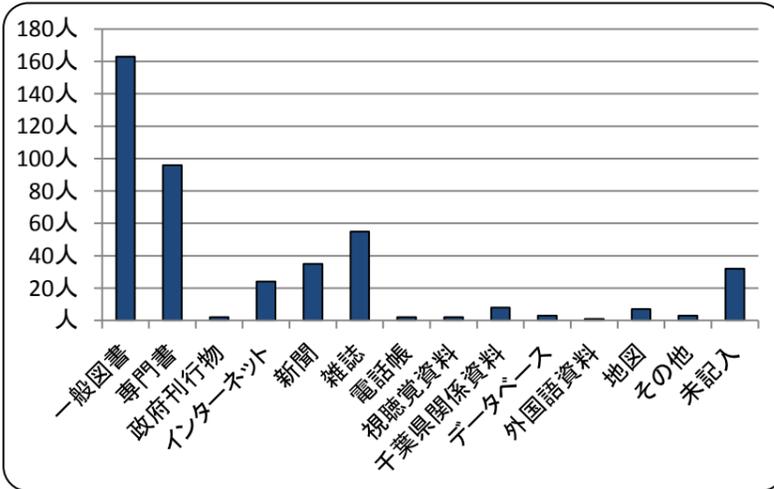
サービスの満足度について、①から③については「未記入」を除いて「非常に満足」又は「満足」と回答した方が約7割から8割以上と高い評価をいただきました。④から⑥についても、「利用なし」と「未記入」を除いて「非常に満足」又は「満足」と回答した方が約7割以上でしたが、「利用なし」又は「未記入」回答の方が昨年同様多く、回答者全体の約4割を占めています。

東部図書館設問

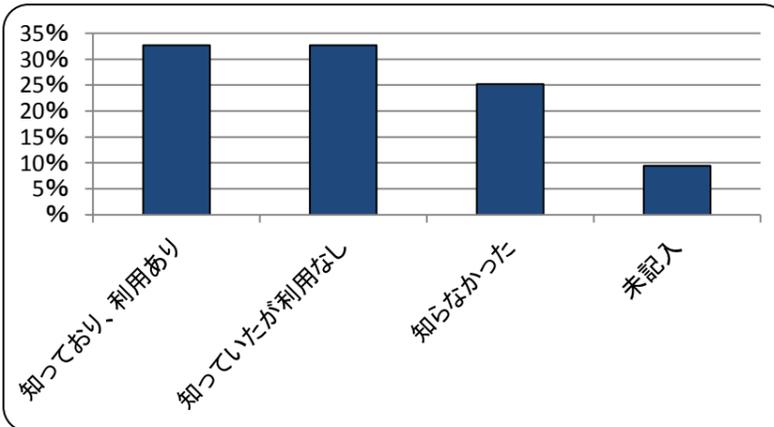
1. どのコーナーをよく利用しますか。(複数回答可)



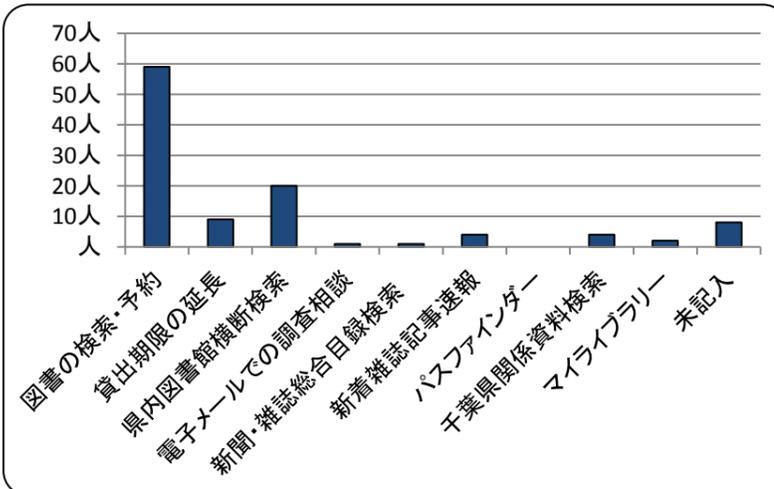
3. どのような図書館資料・情報を利用しますか。(複数回答可)



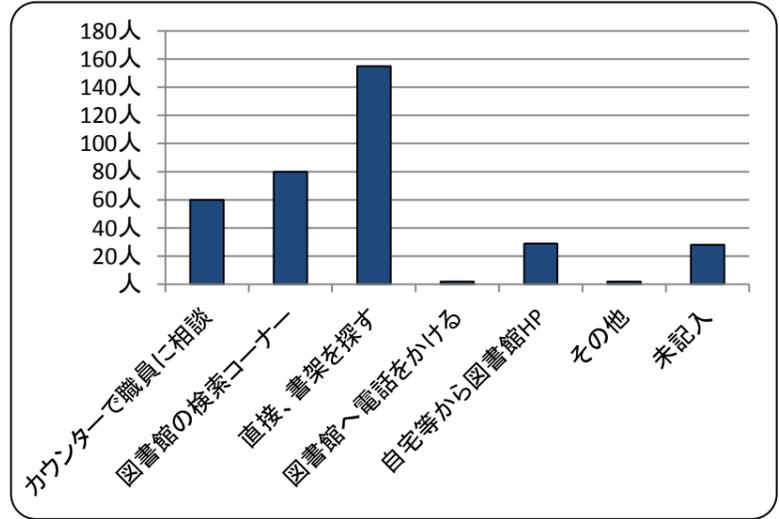
5. 他の図書館の本を県立図書館に取り寄せたり、県立図書館の本をお近くの図書館で取り寄せたりして利用できることを知っていますか。



7. 上記6で「利用したことがある」と回答した方に伺います。『県立図書館ホームページ』上でどのサービスを利用しますか。(複数回答可)



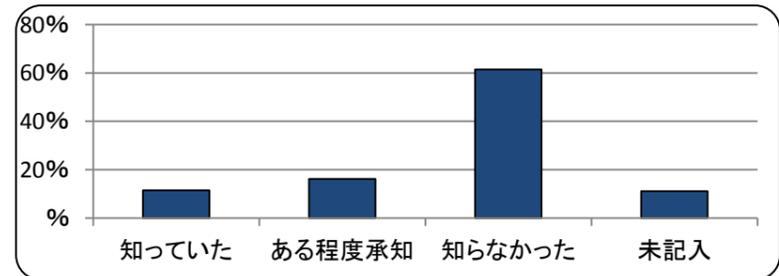
2. 図書館資料は主にどのようにして探しますか。(複数回答可)



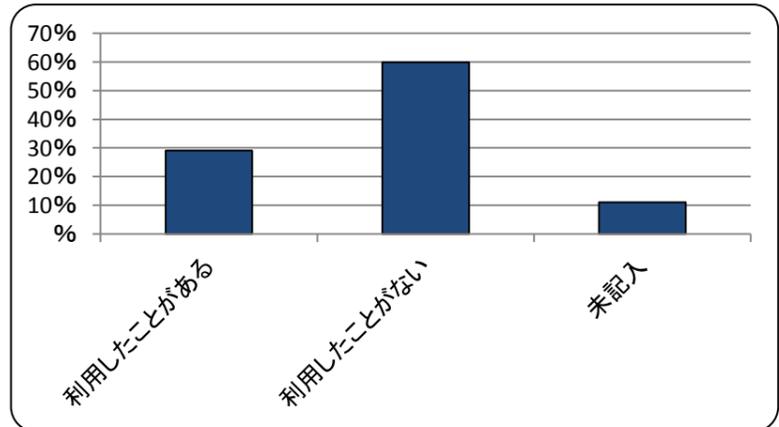
県立図書館では、限られた予算を有効に使うため、各図書館の重点収集分野を以下のように定め、3館での重複を避けた資料収集をしています。

中央図書館: 社会科学など下記以外・千葉県関係・児童資料
 西部図書館: 自然科学・技術・工学
 東部図書館: 文学・歴史

4. このような県立図書館の収集のしかたはご存知でしたか?



6. 『県立図書館ホームページ』を利用したことがありますか。



・県立図書館3館の収集分担については、6割の方が知らないと回答しています。利用案内等で広報し、ご理解いただけるように努めてまいります。

・ホームページを利用したことがない方が6割、利用したことがあると回答した方では、図書の検索・予約、貸出延長、県内図書館横断検索以外の利用が少ないようでした。館報や図書館ナビでホームページの紹介や利用方法の説明を行い、利用促進に努めてまいります。

アンケートにご協力いただき

ありがとうございました